

淀川左岸 中津～毛馬で観察された生き物の記録 コース No.5

種名とともに、状態を表す記号を付記した。

1: 葉、卵、配偶体 (蘚苔類等) 2: 花、幼虫、幼鳥、孢子体未成熟 (蘚苔類) 3: 果実、蛹、孢子体成熟 (蘚苔類)

4: 実生、成虫、成鳥、枯死、休眠 (蘚苔類) 0: 孢子、無性芽 (蘚苔類)、その他 植: 植栽

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。

植物の種名は見つけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。

※2分の1地域メッシュコード (総務省) で分割し、そのコード番号の下に記載したNo.

は旧「みどり」と生き物会議」で使用した大阪市域500mメッシュナンバーである。

ほぼ全域でみられた野草: アレチギシギシ、アレチヌスビトハギ、ウラジロチチコグサ、エノコログサ、オッタチカタバミ、オニタビラコ、セイタカアワダチソウ、チチコグサモドキ、ノゲシ、ヘクソカズラ、ホトケノザ、ムラサキカタバミ、ヤハズエンドウ、ヨモギ

日時: 2020年11月22日 10:00~16:00 天候: 晴れ

調査者: 浮田文子 木山正隆 北川ちえこ 忍喜博 高瀬恒美 中谷憲一 中西有美 林耕太 梶元慶子

一般参加者: 2名 事務局: 佐藤秀典

場所: 阪急「中津駅」～毛馬開門・エリアマップ No.1,2,3 (臨時改訂版) ,6

コメント: 河川敷や堤防が高速道路建設工事で通行できず、毛馬までは堤防近くの小公園を中心に歩きました。富島神社ではウグイスやアケビコノハを見ました。初めて歩くところは興味津々ですが、この日はヒロハフウリンホオズキというホオズキを小さくしたような植物を初めて記録しました。堤防下の道ではクズ、アレチヌスビトハギ、セイタカアワダチソウが繁茂していました。又、エノキ、センダン、ナンキンハゼの実生もたくさん出て大きくなっていました。

